

世界に羽ばたく  
科学系人材の育成!

# 小松SSHだより

石川県立小松高等学校

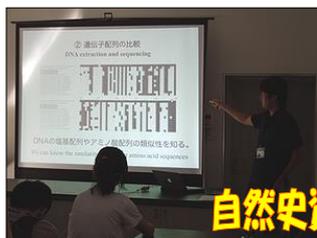
第4号 H25年9月  
編集 : SSH推進委員会  
発行責任者 : 西 清人

## 韓国科学交流

8月4日(日)～7日(水)にかけて、韓国・大田(テジョン)科学高校から生徒10名と教頭先生はじめ3名の教員が来日しました。本校の理数科2年生10名と3名の教員が、4日に小松空港で出迎え、一緒に石川県自然史資料館で生物学の研修を行いました。また、その日の夜は小松高校の生徒と大田科学高校の生徒で合同の合宿を行い、これから行う共同研究のテーマについての話し合いをしました。その結果、共同研究は「日韓の伝統的帆船の形状、安定性の研究」と「オンドルとこたつの比較研究」で行うことになりました。大田科学高校の生徒たちは、5日(月)～6日(火)には本校理数科2年生が金沢工業大学で行う「工学部における実験セミナー」に参加し、7日(水)に、小松高校を訪れ校舎内を見学したあと、両校の校長による記念品の交換を行い、帰国しました。



小松空港で出迎え



自然史資料館研修



記念品交換

## 工学部における実験セミナー

8月5日(月)～6日(火)金沢工業大学にて、理数科2年生40名による「工学部における実験セミナー」が行われました。「軽くて強くてしかも美しい橋づくり」をテーマにした研修で、橋の製作を通して土木工学の基礎を学び、自分たちの製作の過程や工夫した点を英語でプレゼンテーションします。また橋のデザインコンテストや強度コンテストを行い、どのグループの橋が研修テーマに一番近いかを競い合います。

この研修には来日している大田科学高校の生徒10名も参加し、日韓の合同のグループをつかって、協力し合って橋の設計や製作を行いました。本校の生徒たちは英語でのコミュニケーション能力を身につけるとともに、韓国の生徒たちと友情を深めることができました。



橋の製作



デザインコンテスト



強度コンテスト



プレゼンテーションコンテスト

# 全国SSH生徒研究発表会（横浜）

8月7日（水）～8日（木）にパシフィコ横浜で、全国のSSH指定校が参加して、課題研究の口頭発表やポスター発表が行われました。本校からは、生物部の3年生4名と1年生2名が参加し、「色素の吸い上げに着目してレインボー植物を作ろう」のテーマでポスター発表を行いました。結果は、残念ながら、口頭発表へは進めませんでした、「奨励賞」と「生徒投票賞」をダブル受賞しました。



## コアSSH

### 「課題研究支援ネットワーク」と「教育資源活用プログラム」による中核的拠点形成～ダイコンコンソーシアムを発展させた「鹿児島モデル」の推進～に関する研究会

8月17日（土）～18日（日）に鹿児島大学で、鹿児島県立錦江湾高等学校主催のコアSSH『「課題研究支援ネットワーク」と「教育資源活用プログラム」による中核的拠点形成～ダイコンコンソーシアムを発展させた「鹿児島モデル」の推進～』に関する研究会（第1回）が行われ、本校から生物部の生徒2名と理科部の生徒2名が参加しました。17日には「本年度の研究計画」の発表を行いました。18日には、仙台第一高校、錦江湾高校、本校の3校で小学生向けの出前授業を行いました。本校から参加した4名は、出前授業の経験が少なかったのですが、後半には少しずつ慣れて、ある程度はしっかりとした講座をすることができました。



## いしかわ高校科学グランプリ（「科学の甲子園」石川県代表選考会）

8月17日（土）、18日（日）に石川県地場産業振興センターで、いしかわ科学グランプリが行われました。本校からは理数科1年生2チーム、2年生2チームが参加しました。筆記問題、実験問題、総合問題のどれも普通の授業では出会うことのない問題で、生徒は試行錯誤しながら頭を悩ませていました。結果は、1年生チーム「おんさくん」が総合1位、2年生チーム「Mish Mash」が総合2位となり、「おんさくん」が石川県代表として、3月に行われる「科学の甲子園」に出場することになりました。



## 物理チャレンジ2013 第2チャレンジ

8月5日（月）～8日（木）に筑波大学で「物理チャレンジ2013 第2チャレンジ」が行われました。本校からは3年生の中川拓真さんと今村秀明さんが第1チャレンジを通過して第2チャレンジに進み、今村秀明さんが優良賞を受賞しました。おめでとうございます！！